

# 令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

## 森林資源デジタルデータの活用勉強会の開催

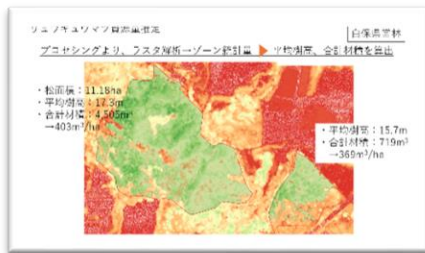
9月17日(水)

令和7年9月17日(水)、森林資源デジタルデータの活用勉強会と称して、本庁森林管理課が令和6年度に発注した石垣島の森林航空レーザデータを今後活用していくための勉強会を開催した。

上記の事業では石垣島の平得・白保県営林周辺とリュウキュウマツ人工林が多く分布している石垣市有林を中心とした範囲を対象に、航空機によるレーザ計測と地形解析・資源解析が行われており、DEMや微地形、傾斜などの地形データと、林冠高や林相区分などの資源データが整備されている。そして、このデータを組み合わせることで、材積換算とその収穫範囲の見える化、造林候補地の選定など現地調査前の概況の把握や調査の省力化を図ることができる。

勉強会では、造林候補地について、現在石垣市が予定している箇所の地形データを見ながら、施工範囲の確保や作業道の入れ方について話し合い、県営林については資源量から算出した収穫サイクルと、現実的な収穫範囲の検討について現場作業を担う事業者から意見を伺うことができた。

今後の現地調査では勉強会での知見を参考に林内を確認するなど、当該データを活用したスマート林業を実践していくことで、八重山地域が他地域のモデルとなるような事例を作っていきたい。



勉強会の様子

レーザデータを用いた説明資料

(報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川)